



■新入生球技大会 大成功!! 5月2日



4月中旬頃から朝のSHR前や昼食時間、放課後の時間を利用して多くのクラスが円陣を組み新入生歓迎球技大会に向けバレーボールの練習に汗を流していました。その光景は、もはや読高4月の風物詩です。

新入生歓迎球技大会は、先輩達が1年生を温かく迎え入れ読高の楽しさを伝えると共に、クラスの結束力を高めることを目的とした行事です。十分にその目的を達成することができたと思います。また、すべてのクラスの窓、ドアの戸締まりがきちんとなされ未施錠が一箇所もなかったこと、そして1部トーナメント決勝戦のあの盛り上がりの後の全員の機敏な行動、整列、スムーズな閉会式、どれもみな素晴らしいかったです!!大成功でした!!

●以下は、各賞受賞クラスの紹介です。おめでとう!!

- クラスTシャツ賞 1-3、2-8、3-7
- 兄弟学級総合得点賞 1-8、2-8、3-8
- 1部トーナメント 1位: 3-8、2位: 3-5
- 2部トーナメント 1位: 2-8
- 3部トーナメント 1位: 2-6

■部活動大会報告 4月21日・22日

- 春季高等学校ソフトボール大会男女優勝おめでとう!!
男子決勝戦 6-1 美里工業 女子決勝戦 13-12 コザ高校
最優秀選手賞: 3-5金城 佑和・3-1宮城 千夏
打撃賞: 3-4當間 伊吹・3-4幸喜 野有
- 第5回沖縄県高等学校7人制ラグビーフットボール大会
1試合目: 読谷・北谷 19-5 宮古・浦添・具志川
2試合目: 読谷・北谷 28-14 宜野座
3試合目: 読谷・北谷 0-24 名護商工
- 平安杯 全九州バレーボール総合選手権大会
男子 一回戦 2-1 コザ高校、二回戦 0-2 美里工業高校
女子 一回戦 2-0 北谷高校、二回戦 0-2 小禄高校

■5月の行事

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1日(火) 1・2年進路講演会 | 17日(木) 三者面談① |
| 2日 新入生歓迎球技大会 | WEB講義講座開始 |
| 3日(木) 憲法記念日 | 1年チャレンジカップ |
| 4日(金) みどりの日 | 18日(金) 三者面談② |
| 5日(土) こどもの日 | 20日(日) 高校総体水泳 |
| 7日(月) 服装容儀指導週間 | 21日(月) 三者面談③ |
| 8日(火) 3年進路講演会 | 22日(火) 三者面談④ |
| 9日(水) 中間考査① | 図書委員校外研修 |
| 10日(木) 中間考査② | 23日(水) 三者面談⑤ |
| 13日(日) 授業参観・PTA総会 | 24日(木) 三者面談⑥ |
| 23年特進クラス合同説明会 | 25日(金) 高校総体開会式 |
| 15日(火) 特進クラス集会 | 26日(土) 高校総体 |
| 16日(水) 高校総体激励式 | 27日(日) 高校総体 |
| 部活動集合写真撮影 | 30日(水) 生徒会長選挙 |

★本の紹介コーナー★

題名: ゾウの時間 ネズミの時間
著者: 本川達雄

本書の第1章「動物のサイズと時間」に、**〈体のサイズと時間との間に、なにか関係があるのではないかと、古来、いろいろな人が調べてきた。〉**とある。例えば、心臓がドキン、ドキンと打つ時間間隔を、ネズミ、ネコ、イヌ、ゾウなどの哺乳類で計測して、その値と体重との関係を調べるとなんとく時間は体重の1/4乗に比例することが分かったという。すなわち、

$$\text{時間} = \alpha (\text{体重})^{1/4} \quad (\alpha \text{は定数})$$

が成り立つのである。

しかもこの式は、「寿命」「おとなのサイズに成長するまでの時間」「赤ん坊が母親の胎内に留まっている時間」「息をする時間間隔」「心臓が打つ間隔」「血が体内を一巡する時間」など時間に関する色々な現象でも成り立つというのだ。面白い。そのことから、「息をする時間間隔」= $\alpha (\text{体重})^{1/4}$ 、「心臓が打つ間隔」= $\beta (\text{体重})^{1/4}$ (α, β は定数) とおける。2つの式を割り算すると、「心臓が打つ間隔」= $(\beta/\alpha) \times$ 「息をする時間間隔」となり、式から「体重」が消える。すなわち、体重によらないわけだからすべての哺乳類についていえるのである。実は上の関係式で、 $\beta/\alpha = 4$ 、が示されているという。つまり、すべての哺乳類は〈息を一回スーッと吸ってハッと吐く間に、心臓は四回ドキンドキンと打つ〉のだ。寿命を心臓の鼓動時間で割ってみると20億、寿命を呼吸する時間で割ると5億という数が出てくるという。哺乳類はどれもし一生に心臓を20億回打ち、呼吸は5億回するということ。〈ネズミは数年しか生きないが、ゾウは100年近い寿命をもつ。しかし、もし心臓の拍動を時計として考えるならば、ゾウもネズミもまったく同じ長さだけ生きて死ぬことになるだろう。(中略) 一生を生き切った感覚は、存外ゾウもネズミも変わらないのではないかと。〉なるほど。〈これから、動物のサイズが、動物の生き方にいかに大きな影響を与えているか見ていこう。人間の考え方や行動なども、これは人間のサイズを抜きにしては理解できないものである。〉とあり、

〈ヒトがおのれのサイズを知る、これは人間にとって、もっとも基本的な教養であろう。〉と続き、〈サイズという視点を通して、生物を、そして人間を理解しようというのが、本書のねらいである。〉で第1章を終えている。第1章は4ページだけである。つまり、以上の内容は4ページ分の内容なのだ。次号でも引き続き本書を紹介したい。

- 2号の正解: 問1③、問3①、問4①、問5①②、問6②③④

